

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4070001211		
法人名	社会医療法人 陽明会		
事業所名	グループホームつくし		
所在地	福岡県京都郡みやこ町勝山松田1133番地 (電話) 0930-32-5523		
自己評価作成日	令和 4 年 11 月 16 日	評価結果確定日	令和 5 年 3 月 16 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

建物は歴史のある木造の民家を利用しており、グループホームならではの落ち着いた雰囲気の中、入居者同士和気あいあいと生活をされています。隣接して同法人の診療所や関連施設があり、医療連携が充実しています。また、同部門のつくし訪問リハビリテーションの協力にて生活機能の維持に努めており、より長く生活を続けられるように支援しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会	
所在地	福岡県春日市原町3-1-7	
訪問調査日	令和 4 年 1 月 17 日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

歴史が感じられる庭園つきの古民家を再生した事業所で、集落に溶け込むような場所に位置しており、近隣住民と気軽に挨拶できるような関係にある。同法人の病院や事業所とも連携を図りながら地域福祉の貢献に努めている。職員は理念に基づき、一人ひとりの思いに寄り添った介護サービスの提供に努めている。地域の方々と連携して「地域見守り隊」を発足し、コロナ禍前は地域内の独居高齢者宅を訪問する等の活動も行われていた。感染状況をみながら再開することを検討している。

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【I 理念に基づく運営】					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は、職員の目の届く玄関と事務所内の2ヶ所に掲示し、日頃から意識するように働きかけています。	地域の方々とのふれあいを大切にしながら、一人ひとりの思いに寄り添った介護サービスの提供がされるよう理念が掲げられている。理念は行動指針とともに事業所内に掲示され、職員は定例の会議などにおいて適宜話し合い、日々の実践に向け取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域在住のドクターと民生委員、区長による見守り隊の活動に参加していましたが、コロナ禍により現在活動は中止となっています。	コロナ禍前は地域と連携し、独居高齢者宅を訪問する「地域見守り隊」の活動や地域行事など通じて交流があっていたが、現在は感染予防のため、近隣の方と挨拶を交わす程度となっている。また、近隣の高校からの実習を受け入れる等、地域の一員として交流している。	
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	同敷地にあるグループホームと介護老人保健施設と合同で、毎年10月にふれあい祭りを催し（令和2年度から令和4年度にかけてコロナウイルス感染予防のため中止）、地域とのコミュニケーションや事業所の活動を紹介しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	令和2年度から現在は運営推進会議を内部のみで開催させて頂きましたが、ご意見等については随時ご家族との連絡や面会にて拝聴し、定例の会議にて改善に努めました。	会議の構成員は、家族や区長、民生委員、町福祉課職員である。コロナ禍のため、書面開催とし、事業活動報告や意見交換を行っている。コロナ禍における面会方法などについての意見が多くあり、出された意見を運営に反映させている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課の担当者とのやり取りは、電話やメールにて行っています。また、介護保険更新申請時に窓口で直接やり取りさせて頂くこともあります。	町福祉課や地域包括支援センターについては、日頃から窓口へ出向いて事業所便りを配布するなど、理解を深めてもらうように努めている。また、電話やメールなどにて行政通知や研修案内の情報を得たり、アンケート調査については積極的に答えるようにし、相互に連携が図られるよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の在宅サービス部門に属しており、身体拘束委員会の設置を行っています。具体的に、事例検討や各事業所での勉強会により理解を深めています。	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。法人内の事業所と連携し、身体拘束廃止委員会が設置されている。月1回の委員会に管理者が参加し、事業所で伝達研修を行い、職員の意識向上に努めている。	

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	上記身体拘束委員会にて虐待防止についての事例検討、勉強会を行っています。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記身体拘束委員会にて権利擁護についての事例検討、勉強会を行っています。	権利擁護の制度については入居時に家族へ説明している。管理者が上記委員会の中で研修を受けているが、職員への伝達研修が行われていない。	職員が権利擁護の制度について理解を深める機会を設け、実施した際は研修記録を残してほしい。
9	—	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に施設見学をお願いしており、ここではグループホームつくしの概要等を説明させて頂いております。その後、契約時には契約書の項目を丁寧に説明することを心掛けており、疑問や質問を都度お答えしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の設置を行っています。運営推進会議と同様に感染規模並びに対策の徹底により実施できるように対応中です。	利用者の思いや要望については、日頃から職員が耳を傾けて運営に反映させている。家族については家族会を設置しているが、コロナ禍のため、現在は電話や来訪時に意見を聞くように努めている。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度のホーム内での会議により、意見や提案を話し合います。その他、随時、意見をしやすい雰囲気作りに取り組んでいます。	管理者は介護現場に入り、日頃から職員の声を聞くように努めている。また、職員の気付きやアイデアなどを業務改善に活かせるよう取り組んでいる。	
12	—	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表により部門統括、管理者との面談を設けています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	職員の募集・採用については性別・年齢等の制限は設けていません。現在働いている職員についても、法人の就業規定に準じています。	職員の採用は性別や年齢問わず広く行われ、幅広い年代の職員が常勤で勤めている。法人は定年後も希望に応じて再雇用を行い、資格取得についても費用の助成や勤務に配慮するなど教育訓練に力を入れている。今後は外部研修の受講機会を増やしたいと考えている。	
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	内部研修により職員を対象に勉強会を実施しています。	法人の委員会において、人権教育のほか、職業倫理や法令遵守、身体拘束廃止・虐待防止などの研修の機会が設けられ、職員が受講して意識の向上に努めている。研修記録が整備されている。	
15	—	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	在宅サービス部門にて、働きながらトレーニングが行える仕組み作りを構築中です。		
16	—	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	オンライン会議に参加ができる環境に整え、ネットワークづくりや勉強会への参加が可能となっています。		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
17	—	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	計画作成担当者を含め、サービス計画書の作成により本人の要望等をケアプランに反映しています。		
18	—	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	計画作成担当者を含め、サービス計画書の作成により本人の要望等をケアプランに反映しています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談依頼の際に、本人、ご家族へ施設見学の案内を行い、相談内容の受付を行っています。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	在宅で行ってきた家事を継続して頂けるよう、リビングで行える生活活動の時間を設けています。		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	可能な限りでの受診の同行や、本人との関わりをなくさない様に面会制限下での感染症対策や制限緩和の働きかけを行っています。		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策による面会の継続を行っています。入居以前から掛かっている病院・診療所等については、法人内外関わらず継続していただき、馴染みの関係が途切れないようにしています。	利用者の馴染みの関係については、入居時に家族等から聞き取り、入居後も関係が切れないように、友人との電話や手紙のやり取りや、受診の帰りなどにドライブで馴染みの場所に立ち寄るなどの支援を行っている。	
23	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関わり合いや支え合いの支援ができるように共有スペースの環境改善を必要に応じ行っています。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の相談援助を必要に応じて行っています。契約書第16条に準ずる。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスにより希望や意向の把握を行い、計画作成担当者が作成したサービス計画を基に生活を支援しています。	職員は日々の関わりの中で、利用者に声をかけ、思いや意向の把握に努めている。また、利用者の言葉や表情、行動等から真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。家族とも日頃から連絡を取り合い、日常生活様子や状況などを伝える際に情報を得るようにしている。	
26	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅時担当の介護支援専門員からの情報提供や、本人、ご家族からの情報を集め把握に努めています。		
27	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	集団生活の中でも、一人ひとりの生活リズムや嗜好を尊重し、支援に努めています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族からのモニタリングに基づいて、計画作成担当者を軸に、管理者、介護スタッフによるカンファレンスにより介護計画を作成しています。	利用者や家族からの意見や意向、主治医や職員の意見等をもとに介護計画の作成や見直しを行っている。家族には、見直しの都度、連絡をして署名、捺印がなされている。	
29	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の経過記録に加え、タイムスケジュール表、健康チェック表等を使い分け、職員間での情報共有に努めています。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や御家族の要望やニーズに日々対応できるように、必要時部門への相談等行っています。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ふれあい祭り（令和2年度から令和4年度にかけてコロナウイルス感染予防のため中止）での出店等で、地域資源として地域との関わりを継続していきます。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅から継続してかかりつけ医の支援を受けられるよう地域医療との連携を図っています。	今までのかかりつけ医や希望する医療機関での受診を支援している。通常は職員が通院を支援し、必要に応じて家族にも同行を依頼している。家族と受診時の通院介助の方法、情報の伝達方法について話し合っている。	
33	—	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同部門にある訪問看護ステーションと委託契約にて入居者の体調管理を行っています。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	法人に救急医療の病院がある為、入院時はMSWとの連携にて情報交換や相談を積極的に行うことができます。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医の協力により、なるべく早い段階からの終末期に向けた方針をご家族様に説明するように心がけています。	重度化や終末期のあり方について、事業所の方針を明文化している。また、重度化や終末期についての事業所の対応について、折に触れて家族等へ説明している。家族等の意向を大切にしながら、かかりつけ医や職員等で話し合っって情報を共有し、支援している。	
36	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	部門内の育成委員会にて、内部研修で応急手当や初期対応の勉強会を行っています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対策マニュアルの作成や勉強会を実施しています。	災害時のマニュアルが作成されている。通報訓練は実施しているが、避難訓練などは行われていない。備蓄品については、飲料と懐中電灯などの備品はあるが、食料品は隣接施設に準備されている。	夜間想定を含めた年2回以上の避難訓練を実施し、その際は地域住民に呼びかけを行ってほしい。また、災害時に孤立した場合を想定して、事業所内に食料品の準備をお願いしたい。
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内部で接遇の勉強会を行うなど、適切な言葉かけができるように職員教育に努めています。	毎年、プライバシー確保等の内部研修等を行い、職員の意識向上が図られている。また、日々の関わり方について、管理者が点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。	
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	カンファレンスや内部の勉強会にて、職員の気づきを養う事の出来る様働きかけています。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務自体を柔軟に行い、入居者の希望やペースに添える様、日頃から業務改善に努めています。		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日着たい服や身に着けたいものは、基本にご本人の希望で着用して頂きます。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事前の準備（テーブルを拭く等）を入居者と一緒に行っており、食後の片付けもできる範囲で支援しています。	定期的実施する嗜好調査を基に、同法人の栄養士が毎月献立を作成し、食事が楽しみなものになるよう支援している。利用者は職員と一緒に食事の片づけ等を行っている。	

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や水分量の管理、食べるペースなどを日頃から観察し、状態にあった対応を行っています。		
44	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施、必要時には診療所内の歯科に相談、受診を行います。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本にしており、誘導時間や排泄パターンの記録を行っています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声かけ、誘導を行っている。利用者が失禁した際は、さりげない声かけや誘導に配慮しながら対応している。おむつやパットを使用する際は、時間帯や種類等を常に検討し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
46	—	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の副作用となる薬の理解や、排便のコントロールを主治医へ相談する等、個別に行っています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	現状は曜日のスケジュールにて入浴をしています。失禁や汚染の状況によって入浴を行えるように配慮しています。	基本的な入浴スケジュールは設定しているが、毎日準備し、柔軟に対応している。入浴を望まない利用者については、職員や時間、曜日を変えたり、声かけを工夫して誘導している。	
48	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた就寝支援を心掛けています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	委託契約の訪問看護スタッフへの相談や助言により、服薬支援を行っています。個々の薬の内容もすぐに観覧できるようにファイリングしています。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の嗜好を活かした役割や楽しみの提供をサービス計画内に取り入れています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染対策のため外出支援に制限をさせていただいています。現状は敷地にある広場を活用し、日光浴や外活動を行っています。	コロナ禍のため、外食や買い物等の外出支援を控えている。利用者の希望や天候に応じて外気浴をしたり敷地内を散歩する等している。受診等の帰りは、気分転換やストレス解消の観点から、ドライブすることもある。	
52	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金として個人のお金の管理をしています。本人の必要な物や欲しい時に使えるように、預り金台帳にて残金の確認ができるようになっています。		
53	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話の所持の制限はなく、携帯電話を持っていないでも電話や手紙のやり取りの支援を行っています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	午前・午後の温湿度のチェック表があり、リビングにて季節感を取り入れた壁面の作成を季節ごとに行っています。	利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を取り入れ、昔から聴き慣れた唱歌や童謡などを流す等、落ち着いた雰囲気となるよう工夫されている。	

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各棟に個別でゆっくりと過ごせるようにソファを設置して思い思いに過ごせる空間作りに気を配っています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのベッド、タンス、チェスト、エアコン以外は、入居時以降使い慣れたものを使用して頂く趣旨をお伝えしています。	利用者の馴染みの筆筒や写真、飾り物などが持ち込まれ、利用者一人ひとりが居心地よく過ごせるよう配慮されている。	
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の導線の把握を心掛け、自立に向けた安全な環境作りを行っています。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）	
V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）				
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：25, 26, 27）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいの
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいの
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：20, 40）	<input type="radio"/>	①毎日ある
			<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			<input type="radio"/>	③たまにある
			<input type="radio"/>	④ほとんどない
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：40）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：38, 39）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：51）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：32, 33）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 （参考項目：30）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21)	○	①ほぼ全ての家族と		
				②家族の2/3くらいと		
				③家族の1/3くらいと		
				④ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22)	○	①ほぼ毎日のようにある		
				②数日に1回程度ある		
				③たまにある		
				④ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている		
				②少しずつ増えている		
				③あまり増えていない		
				④全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が		
				②職員の2/3くらいが		
				③職員の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が		
				②家族等の2/3くらいが		
				③家族等の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【I 理念に基づく運営】					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は、職員の目の届く玄関と事務所内の2ヶ所に掲示し、日頃から意識するように働きかけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域在住のドクターと民生委員、区長による見守り隊の活動に参加していましたが、コロナ禍により現在活動は中止となっています。		
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	同敷地にあるグループホームと老健合同で、毎年10月にふれあい祭りを催し（令和2年度から令和4年度にかけてコロナウイルス感染予防のため中止）、地域とのコミュニケーションや事業所の活動を紹介しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	令和2年度から現在は運営推進会議を内部のみで開催させて頂きましたが、ご意見等については随時ご家族との連絡や面会にて拝聴し、定例の会議にて改善に努めました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課の担当者とのやり取りは、電話やメールにて行っています。また、介護保険更新申請時に窓口で直接やり取りさせて頂くこともあります。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の在宅サービス部門に属しており、身体拘束委員会の設置を行っています。具体的に、事例検討や各事業所での勉強会により理解を深めています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	上記身体拘束委員会にて虐待防止についての事例検討、勉強会を行っています。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記身体拘束委員会にて権利擁護についての事例検討、勉強会を行っています。		
9	—	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に施設見学をお願いしており、ここではグループホームつくしの概要等を説明させて頂いております。その後、契約時には契約書の項目を丁寧に説明することを心掛けており、疑問や質問を都度お答えしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の設置を行っています。運営推進会議と同様に感染規模並びに対策の徹底により実施できるように対応中です。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度のホーム内での会議により意見や提案を話し合います。その他、随時意見をしやすい雰囲気作りに取り組んでいます。		
12	—	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表により部門統括、管理者との面談を儲けています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	職員の募集・採用については性別・年齢等の制限は設けていません。現在働いている職員についても、法人の就業規定に準じています。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	内部研修により職員を対象に勉強会を実施しています。		
15	—	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	在宅サービス部門にて、働きながらトレーニングが行える仕組み作りを構築中です。		
16	—	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	オンライン会議に参加ができる環境に整え、ネットワークづくりや勉強会への参加が可能となっています。		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
17	—	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	計画作成担当者を含めサービス計画書の作成により本人の要望等をケアプランに反映しています。		
18	—	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	計画作成担当者を含めサービス計画書の作成により本人の要望等をケアプランに反映しています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談依頼の際に、本人、ご家族へ施設見学の案内を行い、相談内容の受付を行っています。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	在宅で行ってきた家事を継続して頂けるよう、リビングで行える生活活動の時間を確保しています。		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	可能な限りでの受診の同行や、本人との関わりをなくさない様に面会制限下での感染症対策や制限緩和の働きかけを行っています。		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策による面会の継続を行っています。入居以前から掛かっている病院・診療所等については法人内外関わらず継続していただき、馴染みの関係が途切れないようにしています。		
23	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関わり合いや支え合いの支援ができるように共有スペースの環境改善を必要に応じ行っています。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の相談援助を必要に応じて行っています。契約書第16条に準ずる。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスにより希望や意向の把握を行い、計画作成担当者が作成したサービス計画を基に生活を支援しています。		
26	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅時担当の介護支援専門員からの情報提供や、本人、ご家族からの情報を集め把握に努めています。		
27	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	集団生活の中でも、一人ひとりの生活リズムや嗜好を尊重し支援に努めています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族からのモニタリングに基づいて、計画作成担当者を軸に、管理者、介護スタッフによるカンファレンスにより介護計画を作成しています。		
29	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の経過記録に加え、タイムスケジュール表、健康チェック表等を使い分け職員間での情報共有に努めています。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や御家族の要望やニーズに日々対応できるように、必要時部門への相談等行っています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ふれあい祭り（令和2年度から令和4年度にかけてコロナウイルス感染予防のため中止）での出店等で地域資源として地域との関わりを継続していきます。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅から継続してかかりつけ医の支援を受けられるよう地域医療との連携を図っています。		
33	—	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同部門にある訪問看護ステーションと委託契約にて入居者の体調管理を行っています。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	法人に救急医療の病院がある為、入院時はMSWとの連携にて情報交換や相談を積極的に行うことができます。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医の協力によりなるべく早い段階からの終末期に向けた方針をご家族様に説明するように心がけています。		
36	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	部門内の育成委員会にて、内部研修で応急手当や初期対応の勉強会を行っています。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対策マニュアルの作成や勉強会を実施しています。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内部で接遇の勉強会を行うなど、適切な言葉かけができるように職員教育に努めています。		
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	カンファレンスや内部の勉強会にて職員の気付きを養う事の出来る様働きかけています。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務自体を柔軟に行え入居者の希望やペースに添える様、日頃から業務改善に努めています。		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日着たい服や身に着けたいものは基本的にご本人の希望で着用して頂きます。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事前の準備（テーブルを拭く等）を入居者と一緒に行っており、食後の片付けもできる範囲で支援しています。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や水分量の管理、食べるペースなどを日頃から観察し、状態にあった対応を行っています。		
44	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施、必要時には診療所内の歯科に相談、受診を行います。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本にしており、誘導時間や排泄パターンの記録を行っています。		
46	—	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の副作用となる薬の理解や、排便のコントロールを主治医へ相談する等個別にて行っています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	現状は曜日のスケジュールにて入浴をしています。失禁や汚染の状況によって入浴を行えるように配慮しています。		
48	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた就寝支援を心掛けています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	委託契約の訪問看護スタッフへの相談や助言により服薬支援を行っています。個々の薬の内容もすぐに観覧できるようにファイリングしています。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の嗜好を活かした役割や楽しみの提供をサービス計画内に取り入れています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染対策のため外出支援に制限をさせていただいています。現状は敷地にある広場を活用し日光浴やと外活動を行っています。		
52	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金として個人のお金の管理をしています。本人の必要な物や欲しい時に使えるように、預り金台帳にて残金の確認ができるようになっています。		
53	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話の所持の制限はなく、携帯電話を持っていないでも電話や手紙のやり取りの支援を行っています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	午前午後の温湿度のチェック表があり、リビングにて季節感を取り入れた壁面の作成を季節ごとに行っています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各棟に個別でゆっくりと過ごせるようにソファを設置して思い思いに過ごせる空間作りに気を配っています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのベッド、タンス、チェスト、エアコン以外は入居時以降使い慣れたものを使用して頂く趣旨をお伝えしています。		
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の導線の把握を心掛け、自立に向けた安全な環境作りを行っています。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）	
V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）				
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：25, 26, 27）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいの
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいの
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：20, 40）	<input type="radio"/>	①毎日ある
			<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			<input type="radio"/>	③たまにある
			<input type="radio"/>	④ほとんどない
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：40）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：38, 39）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：51）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：32, 33）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 （参考項目：30）	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2／3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1／3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）			
V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 （参考項目：9, 10, 21）	○	①ほぼ全ての家族と		
				②家族の2／3くらいと		
				③家族の1／3くらいと		
				④ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：2, 22）	○	①ほぼ毎日のようにある		
				②数日に1回程度ある		
				③たまにある		
				④ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）	○	①大いに増えている		
				②少しずつ増えている		
				③あまり増えていない		
				④全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 （参考項目：11, 12）	○	①ほぼ全ての職員が		
				②職員の2／3くらいが		
				③職員の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2／3くらいが		
				③利用者の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が		
				②家族等の2／3くらいが		
				③家族等の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		